

産業遺産情報センターの機能・必要面積について（案）

インフォメーションセンターとしての必要機能

機能1 情報発信
シンクタンクの機能

- 23構成資産の群としての世界遺産価値をPR
- 歴史全体について理解できる説明

機能2 調査研究

- 産業史
- 産業遺産
- 産業に貢献した人々

機能3 資産の保全管理指導

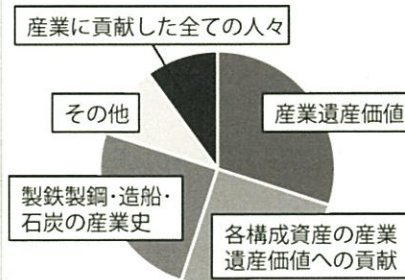
- 保全管理の支援

機能4 教育・研修

- 政府・自治体・メディア・NGO等の研修プログラム実施
(eラーニングは機能6と連動)

機能5 適切な展示戦略

展示の割合



機能6 展示技術の開発と指導

- デジタル文書化の推進

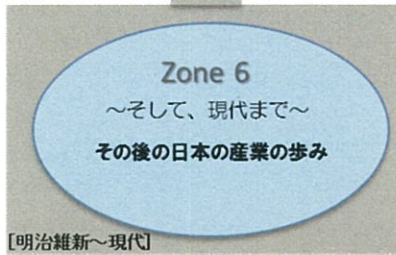
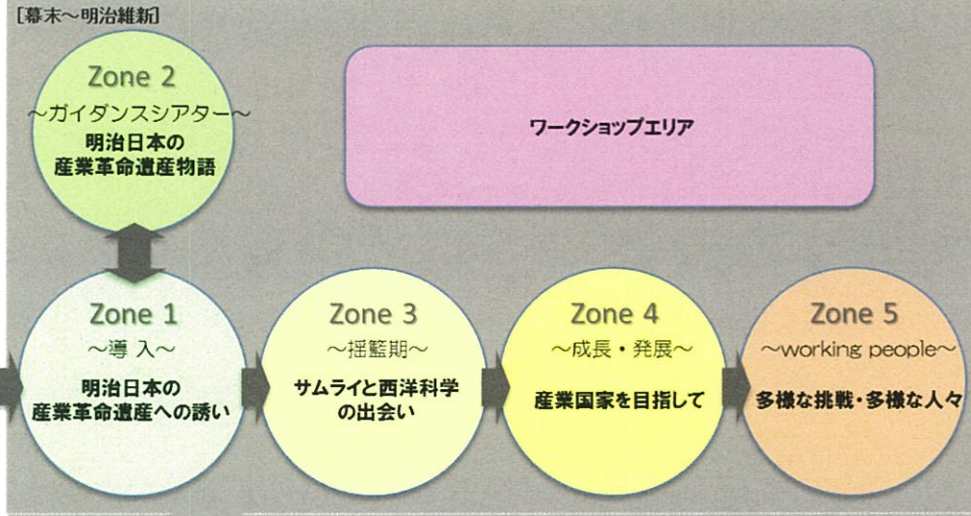
機能7 各センターとの連携と地方創生

- 中核のインフォメーションセンターを基軸に8県11市のビジターセンター等と連携
- 世界遺産ルートと共に地方創生の観点から総合的な展示戦略を準備

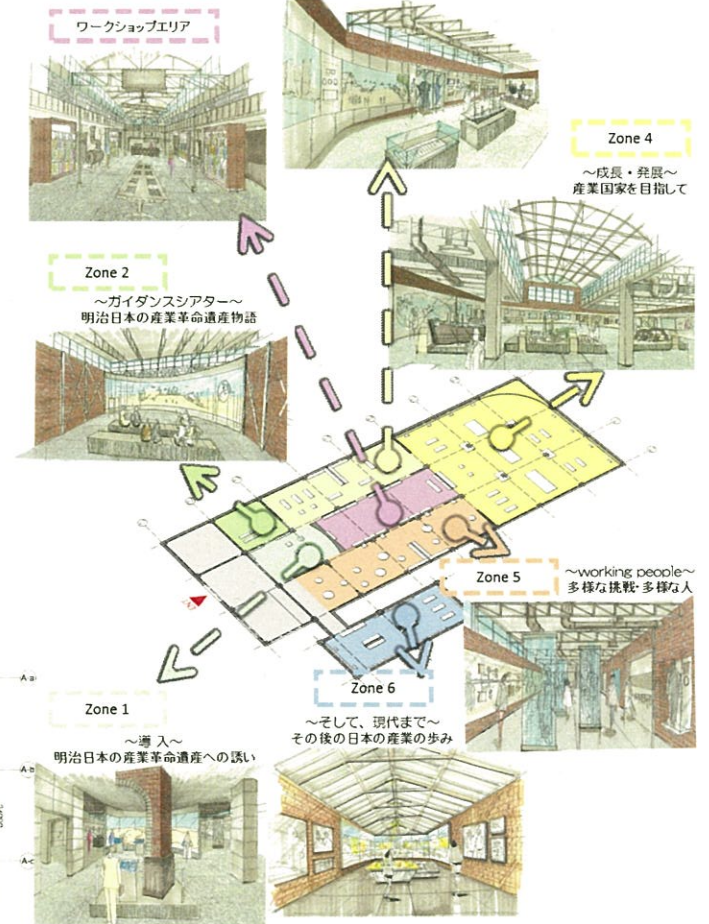
展示手法のパターン	概要	想定展示面積
A 新設	本展示を設置するため、新たに建築物を建造し、本展示専用の展示施設とする場合。	1,500㎡程度
B 既存施設の一部を活用(大)	既存施設の一部を活用して展示を行う。室単位の活用等、比較的規模が大きい場合。	500㎡程度
C 既存施設の一部を活用(小)	既存施設の一部を活用して展示を行う。エントランスや展示室の一角を活用するなど、比較的規模が小さい場合。	60㎡程度
D Webで展開	展示施設を設けず、Webを活用して、情報発信を行う場合。	—

パターンA (新設: 1500m²規模)

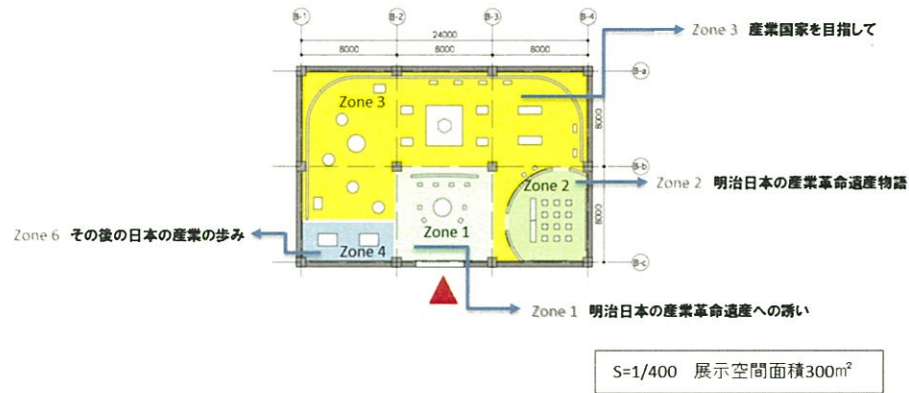
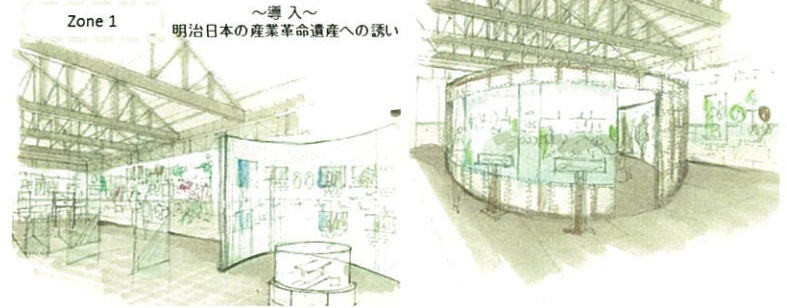
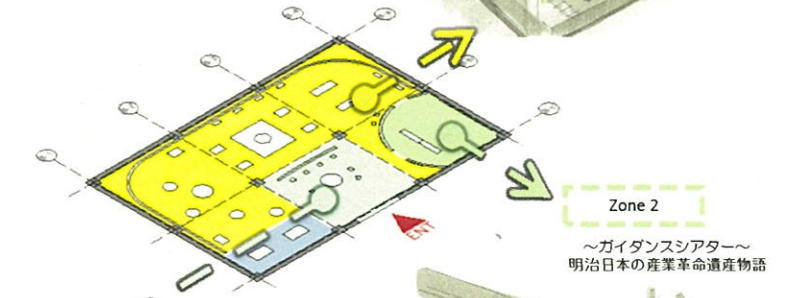
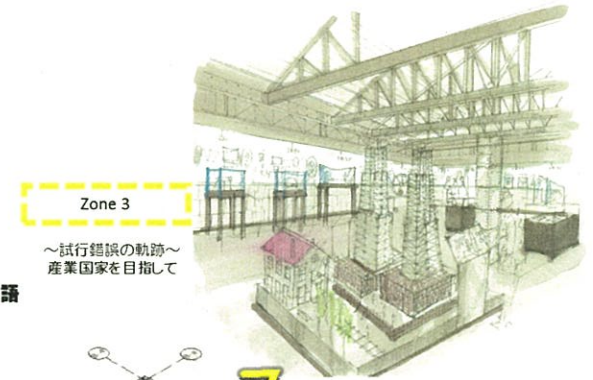
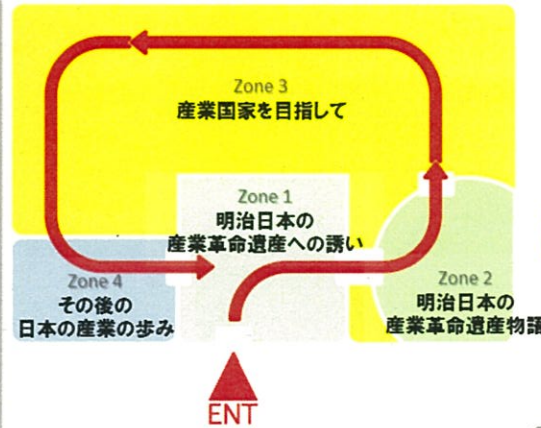
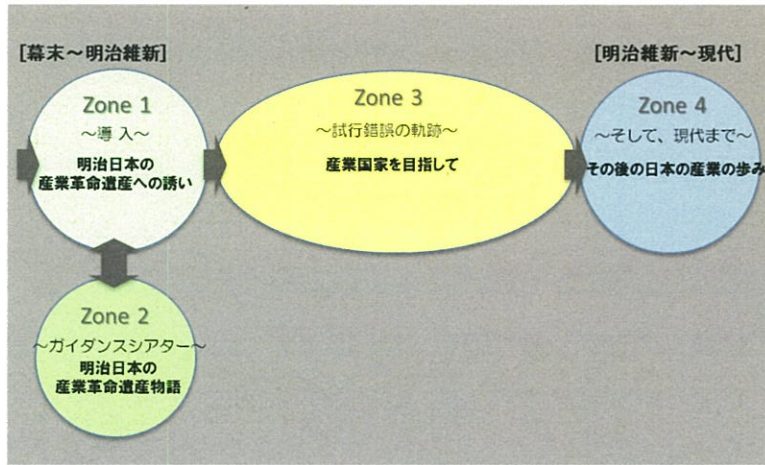
■ 展示構成図



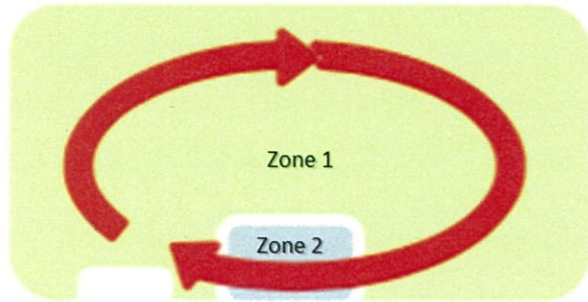
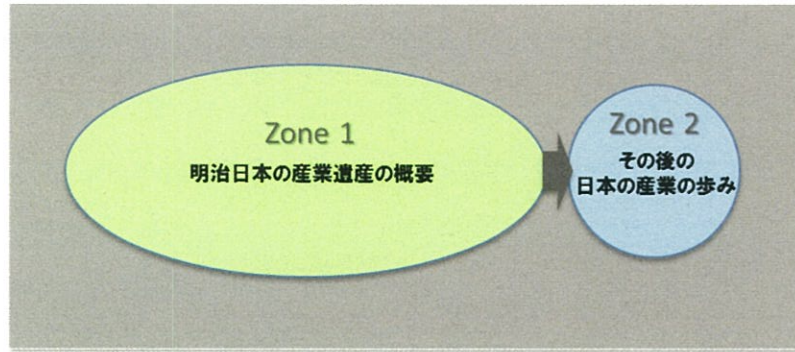
⑥ 全体イメージ



パターンB（既存施設：500m²規模）

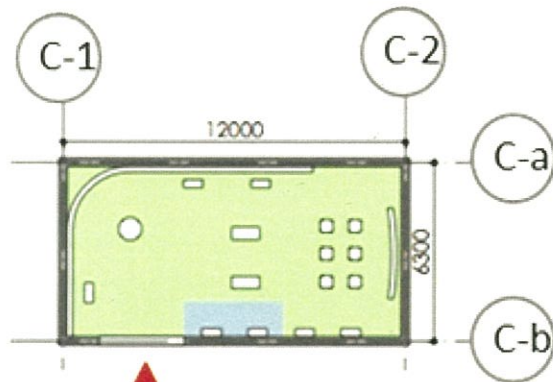


パターンC（既存施設：60m²規模）

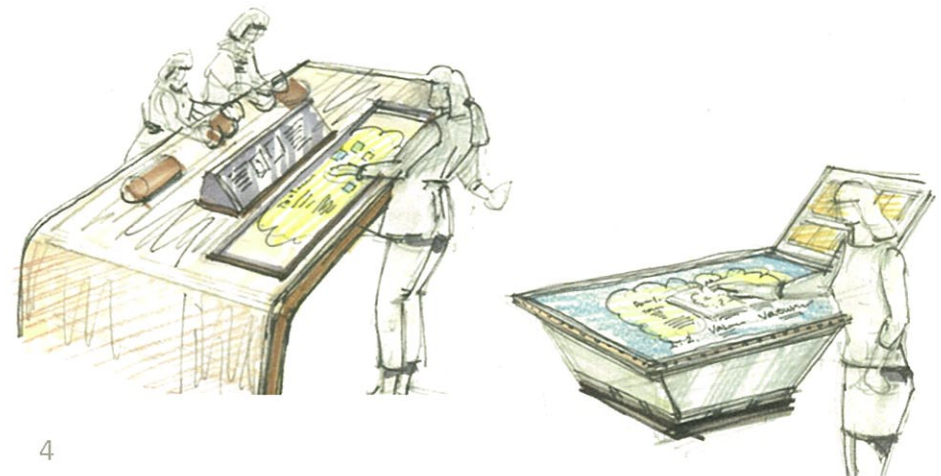


▲
ENT

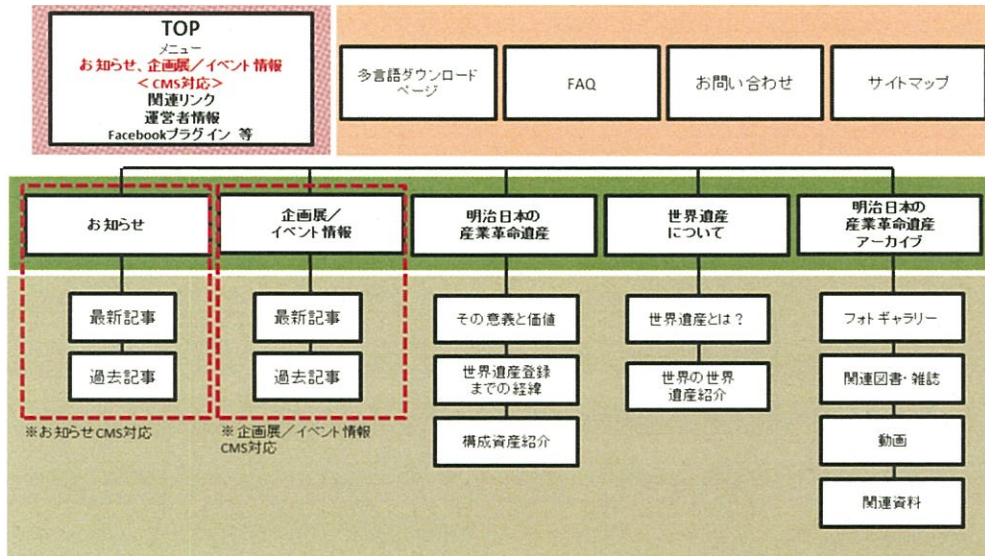
イメージゾーニング



▲
ENT



パターンD (Webでの展開)



サイトマップイメージ



画面イメージ